



2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年4月14日

上場会社名 株式会社コパ・コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7689 URL <https://www.copa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 泰助
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 吉川 秀人 (TEL) 03-5724-4302
 定時株主総会開催予定日 2025年5月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2025年5月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期の業績(2024年3月1日~2025年2月28日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	2,052	△6.9	△281	—	△278	—	△437	—
2024年2月期	2,205	△14.3	△371	—	△371	—	△1,281	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年2月期	△147.75	—	△34.8	△19.1	△13.7
2024年2月期	△432.63	—	△60.5	△14.8	△16.8

(参考) 持分法投資損益 2025年2月期 一百万円 2024年2月期 一百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	1,272	1,039	81.7	350.90
2024年2月期	1,646	1,477	89.7	498.65

(参考) 自己資本 2025年2月期 1,039百万円 2024年2月期 1,477百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	△209	△15	△0	658
2024年2月期	△398	△114	△250	883

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年2月期の業績予想(2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,399	16.9	△89	—	△89	—	△90	—	△30.54

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期	2,963,000 株	2024年2月期	2,963,000 株
② 期末自己株式数	2025年2月期	124 株	2024年2月期	124 株
③ 期中平均株式数	2025年2月期	2,962,876 株	2024年2月期	2,962,906 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料『（P. 3 「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し）』をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(持分法損益等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善などを背景に経済活動の正常化が緩やかに進みました。しかしながら、不安定な国際情勢を背景とする原材料価格やエネルギーコストの高騰の継続、円安の継続および物価高騰に伴う消費者の購買意欲の不安定等、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当事業年度における業績は売上高2,052,289千円（前年同期比6.9%減）、営業損失281,839千円（前年同期は営業損失371,249千円）、経常損失278,838千円（前年同期は経常損失371,162千円）、当期純損失437,770千円（前年同期は当期純損失1,281,854千円）となりました。

当社の事業セグメントは単一の事業セグメントであります。販売チャネルを区分した売上高の概況は次のとおりであります。

① TV通販

当販売チャネルには、TV通販番組にて販売するため、TV通販番組運営会社に対する商品の売上が含まれます。当事業年度においてはラジオ媒体での商品販売の強化、テレビ放送での訴求内容・演出のリニューアルの実施により業績の向上に取り組みました。ゴム加工を施したピーリングタオル「ゴムポンつるつる」、掃除用クロス「パルスイクロス」、ジェルタイプの風呂用カビ取り剤「スパイダージェル」が売上に牽引し、また新商品の「曲げ鋏」を採用した日本製包丁「鋏-shinogi」、骨盤サポートベルト「骨盤整隊カシャーンactive」の新規企画の導入も実現しましたが、売上高は、842,868千円（前年同期比1.2%増）となりました。

② ベンダー販売

当販売チャネルには、小売店において店頭で販売するため、小売店に対する商品の売上が含まれます。当事業年度においては店頭実演の実施、実演販売士のおすすめ商品コーナーを店舗に設置するなどの施策で、売上高の向上に取り組んでおります。ゴム加工を施したピーリングタオル「ゴムポンつるつる」、ゴム加工を施したバスブラシ「ゴムポンバスブラシ」、骨盤サポートベルト「骨盤整隊カシャーン」が売上に牽引し、また新商品の晴雨兼用の折りたたみ傘「99Tsukumo傘」、骨盤サポートベルト「骨盤整隊カシャーンactive」も売上に牽引する要因となったものの、主力商品の入れ替えによる取引中の商品点数の減少を補完しきることが出来ず、売上高は353,765千円（前年同期比37.7%減）となりました。

③ インターネット通販

当販売チャネルには、インターネット上のショッピングモールでの商品の売上が含まれます。当事業年度においては各モール内での取り扱い商品数を増やすべく、クラウドファンディング事業「わくたん」から、NB商品の仕入れを進め、売上高の向上に取り組んでおります。ゴム加工を施したピーリングタオル「ゴムポンつるつる」、ゴム加工を施したバスブラシ「ゴムポンバスブラシ」、エアコンの冷却フィン洗浄剤「エアコンクリーナーAg消臭プラス」、エアコンの送風ファン洗浄剤「カビッシュトレール」が売上に牽引し、売上高は711,796千円（前年同期比13.2%増）となりました。

④ セールスプロモーション

当販売チャネルには、クラウドファンディング事業「わくたん」及び企業等からのプロモーション活動や社内教育に関する依頼に基づいた動画の制作、又は実演販売士の派遣及び動画への出演による売上が含まれます。「わくたん」でのプロジェクトの獲得数及び流通額は順調に増加し、実演販売士のイベント出演案件も復調し好調に推移したものの動画制作案件が減少し、売上高は、85,622千円（前年同期比31.1%減）となりました。

⑤ デモカウ

当販売チャネルには、当社が消費者へ直接商品を販売するための当社直営店舗「デモカウ」及びECサイト「デモカウ」の売上が含まれます。当事業年度においてはソラマチ店にて新商品の骨盤サポートベルト「骨盤整隊カシャーンactive」を含めた骨盤整隊カシャーンシリーズ、ゴムポンつるつるシリーズが売上に牽引したことで好調に推移し、前期実績を上回ることができましたが、前年度に店舗数がソラマチ店と北千住マルイ店の2店舗からソラマ

ち店のみの1店舗へと減少したことにより、当事業年度の売上高は、48,368千円（前年同期比2.9%減）となりました。

⑥ その他

当販売チャンネルには、社内販売制度などその他のチャンネルの売上が含まれます。当事業年度の売上高は、9,868千円（前年同期比423.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は、前事業年度末に比べて374,261千円減少し、1,272,331千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べて179,958千円減少し、1,265,753千円となりました。主な要因は、棚卸資産が47,714千円増加した一方で、現金及び預金が224,578千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べて194,302千円減少し、6,578千円となりました。主な要因は、無形固定資産が173,647千円減少したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債総額は、前事業年度末に比べて63,508千円増加し、232,672千円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べて63,357千円増加し、215,752千円となりました。主な要因は、未払金が7,786千円減少した一方で、買掛金が73,326千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べて151千円増加し、16,920千円となりました。主な要因は、退職給付引当金が1,009千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末に比べて437,770千円減少し、1,039,659千円となりました。主な要因は、当期純損失の計上により利益剰余金が437,770千円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ224,578千円減少し、658,733千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動による資金の減少は、209,139千円となりました。主な要因は、税引前当期純損失437,869千円の計上、売上債権の減少25,414千円、棚卸資産の減少47,714千円があった一方で、減価償却費51,235千円の計上、減損損失159,031千円の計上、仕入債務の増加73,326千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動による資金の減少は、15,367千円となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出18,083千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動による資金の減少は、71千円となりました。主な要因は、その他の減少71千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2026年2月期(2025年3月1日~2026年2月28日)の見通しにつきましては、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による、原材料の価格高騰や材料不足などにより起こるインフレーションによる消費マインドの冷え込みリスクなど、経済の先行きは引き続き不透明な状況が続くと予想されます。

このような環境下、当社では新商品発売数の増加、新たな商品卸先店舗の拡大、インターネット通販のさらなる集客拡大やクラウドファンディング事業の拡大により、業績回復へ向けた取り組みを進めてまいります。

以上を踏まえ、2026年2月期の業績予想につきましては、売上高においては2,399百万円、営業利益においては△89百万円、経常利益においては△89百万円、当期純利益においては△90百万円を見込んでおります。なお、上記の業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、今後も制度の動向等に注視し、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	883,312	658,733
電子記録債権	12,161	27,452
売掛金	137,726	147,849
棚卸資産	362,493	410,208
前渡金	1,415	11,507
前払費用	9,997	10,412
前払金	2,200	-
未収入金	686	176
未収消費税等	36,310	-
貸倒引当金	△591	△588
流動資産合計	1,445,712	1,265,753
固定資産		
有形固定資産		
建物	28,712	28,712
減価償却累計額	△13,519	△28,712
建物(純額)	15,193	-
車両運搬具	3,808	3,808
減価償却累計額	△2,680	△3,808
車両運搬具(純額)	1,127	-
工具、器具及び備品	26,688	27,170
減価償却累計額	△22,354	△27,170
工具、器具及び備品(純額)	4,334	-
有形固定資産合計	20,655	-
無形固定資産		
ソフトウェア	170,329	-
ソフトウェア仮勘定	3,272	-
その他	45	-
無形固定資産合計	173,647	-
投資その他の資産		
出資金	60	60
長期預け金	480	480
差入保証金	6,037	6,037
投資その他の資産合計	6,578	6,578
固定資産合計	200,880	6,578
資産合計	1,646,593	1,272,331

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,698	122,024
未払金	45,912	38,126
未払費用	22,793	19,538
未払法人税等	1,013	2,764
未払消費税等	-	7,261
前受金	174	-
預り金	3,627	3,567
契約負債	3,480	2,803
賞与引当金	26,693	19,665
流動負債合計	152,394	215,752
固定負債		
退職給付引当金	8,290	9,299
資産除去債務	7,617	7,620
長期末払金	71	-
繰延税金負債	789	-
固定負債合計	16,768	16,920
負債合計	169,163	232,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,160	401,160
資本剰余金		
資本準備金	389,160	389,160
資本剰余金合計	389,160	389,160
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	687,446	249,676
利益剰余金合計	687,446	249,676
自己株式	△337	△337
株主資本合計	1,477,429	1,039,659
純資産合計	1,477,429	1,039,659
負債純資産合計	1,646,593	1,272,331

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高	2,205,457	2,052,289
売上原価	1,388,424	1,162,803
売上総利益	817,033	889,486
販売費及び一般管理費	1,188,283	1,171,325
営業損失(△)	△371,249	△281,839
営業外収益		
受取利息及び配当金	14	421
保険解約返戻金	-	2,599
助成金収入	993	-
還付加算金	112	164
その他	1,333	381
営業外収益合計	2,454	3,567
営業外費用		
支払利息	703	-
為替差損	40	119
売掛債権譲渡損	714	171
その他	908	276
営業外費用合計	2,367	566
経常損失(△)	△371,162	△278,838
特別利益		
固定資産売却益	180	-
債務免除益	35,009	-
特別利益合計	35,190	-
特別損失		
固定資産売却損	116	-
減損損失	-	159,031
棚卸資産評価損	945,045	-
特別損失合計	945,161	159,031
税引前当期純損失(△)	△1,281,134	△437,869
法人税、住民税及び事業税	756	690
法人税等調整額	△35	△789
法人税等合計	720	△99
当期純損失(△)	△1,281,854	△437,770

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	401,160	389,160	389,160	1,969,301	1,969,301	△308	2,759,313	2,759,313
当期変動額								
当期純損失(△)				△1,281,854	△1,281,854		△1,281,854	△1,281,854
自己株式の取得						△29	△29	△29
当期変動額合計	-	-	-	△1,281,854	△1,281,854	△29	△1,281,884	△1,281,884
当期末残高	401,160	389,160	389,160	687,446	687,446	△337	1,477,429	1,477,429

当事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	401,160	389,160	389,160	687,446	687,446	△337	1,477,429	1,477,429
当期変動額								
当期純損失(△)				△437,770	△437,770		△437,770	△437,770
自己株式の取得							-	-
当期変動額合計	-	-	-	△437,770	△437,770	-	△437,770	△437,770
当期末残高	401,160	389,160	389,160	249,676	249,676	△337	1,039,659	1,039,659

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失(△)	△1,281,134	△437,869
減価償却費	32,710	51,235
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,690	△7,028
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,024	1,009
受取利息及び受取配当金	△14	△421
支払利息	703	-
売掛債権譲渡損	714	171
債務免除益	△35,009	-
固定資産売却損益(△は益)	△64	-
減損損失	-	159,031
保険解約返戻金	-	△2,599
売上債権の増減額(△は増加)	12,561	△25,414
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,021,923	△47,714
前払費用の増減額(△は増加)	△1,884	△531
未収消費税等の増減額(△は増加)	△36,310	36,310
仕入債務の増減額(△は減少)	△82,050	73,326
未払金の増減額(△は減少)	△4,696	△5,871
未払費用の増減額(△は減少)	△560	△3,254
未払消費税等の増減額(△は減少)	△39,131	7,261
契約負債の増減額(△は減少)	△528	△676
その他の資産の増減額(△は増加)	4,815	△5,565
その他の負債の増減額(△は減少)	6,117	△26
小計	△415,572	△208,633
利息及び配当金の受取額	14	421
利息の支払額	△1,329	△171
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	18,484	△756
営業活動によるキャッシュ・フロー	△398,402	△209,139
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,244	-
有形固定資産の売却による収入	340	-
無形固定資産の取得による支出	△112,260	△18,083
差入保証金の増減額(△は増加)	1,350	-
長期預け金の回収による収入	29	-
保険解約による収入	-	2,715
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114,786	△15,367
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	547,500	-
短期借入金の返済による支出	△797,500	-
自己株式の取得による支出	△29	-
その他	△142	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△250,171	△71
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△763,361	△224,578
現金及び現金同等物の期首残高	1,646,673	883,312
現金及び現金同等物の期末残高	883,312	658,733

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、実演販売関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり純資産額	498円65銭	350円90銭
1株当たり当期純損失(△)	△432円63銭	△147円75銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり当期純損失(△)		
当期純損失(△)(千円)	△1,281,854	△437,770
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	△1,281,854	△437,770
普通株式の期中平均株式数(株)	2,962,906	2,962,876

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度末 (2024年2月29日)	当事業年度末 (2025年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	1,477,429	1,039,659
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,477,429	1,039,659
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	2,962,876	2,962,876

(重要な後発事象)

該当事項はありません。